

県債現在高について

平成22年度6月現計予算の県債発行予定額は1,423億4,400万円ですが、これに平成21年度からの繰越分を加えると1,476億600万円となり、その結果、県債現在高は平成22年度末で1兆2,134億1,800万円となる見込です。

県 債 の 状 況

(単位：百万円)

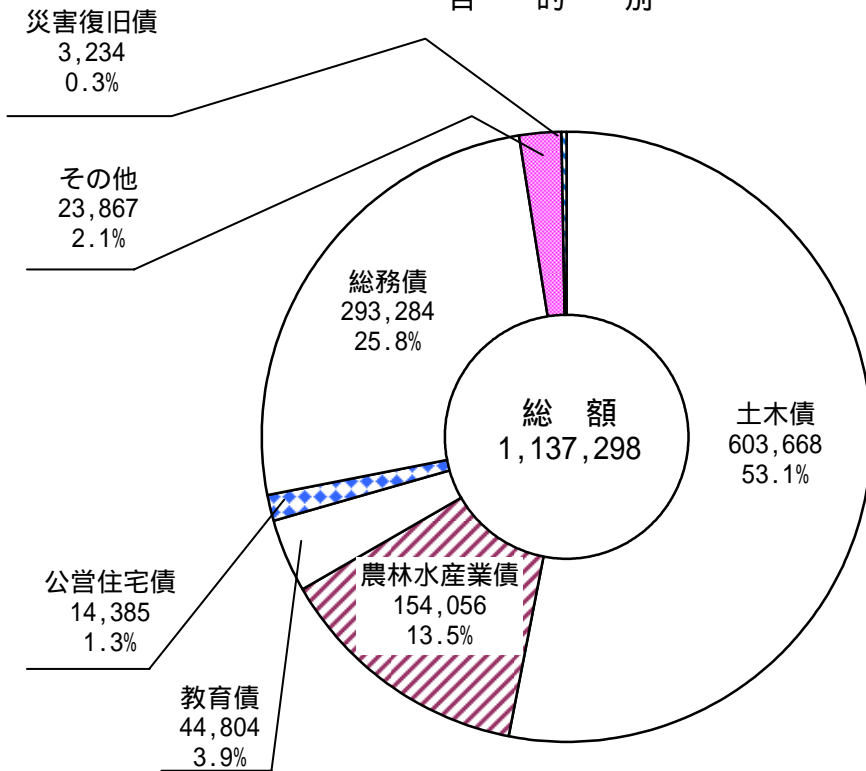
区 分	21年度末 現在高 見込額	22年度中増減見込		22年度末 現在高 見込額
		起債発行 予定額	償 還 予定額	
一般会計債	1,137,298	144,552	103,360	1,178,490
普通債	1,134,064	143,692	102,761	1,174,996
災害復旧債	3,234	859	600	3,494
特別会計債	33,312	2,239	2,541	33,010
母子寡婦福祉資金	757	0	0	757
農業改良資金	545	55	10	590
県営林	2,763	44	41	2,765
長崎魚市場	291	0	161	130
小規模企業者等設備導入資金	10,463	128	337	10,254
用地	0	616	0	616
港湾整備	16,248	1,387	1,881	15,755
流域下水道	2,245	9	111	2,143
企業会計債	1,464	815	361	1,918
交通	1,464	815	361	1,918
計	1,172,074	147,606	106,262	1,213,418

また、県債現在高の内訳は次表のとおりですが、目的別にみると、道路、港湾、住宅など都市基盤の整備や地域振興を図るために充当された県債が大半を占め、借入先別にみると財政融資と銀行の資金で大半を占めています。

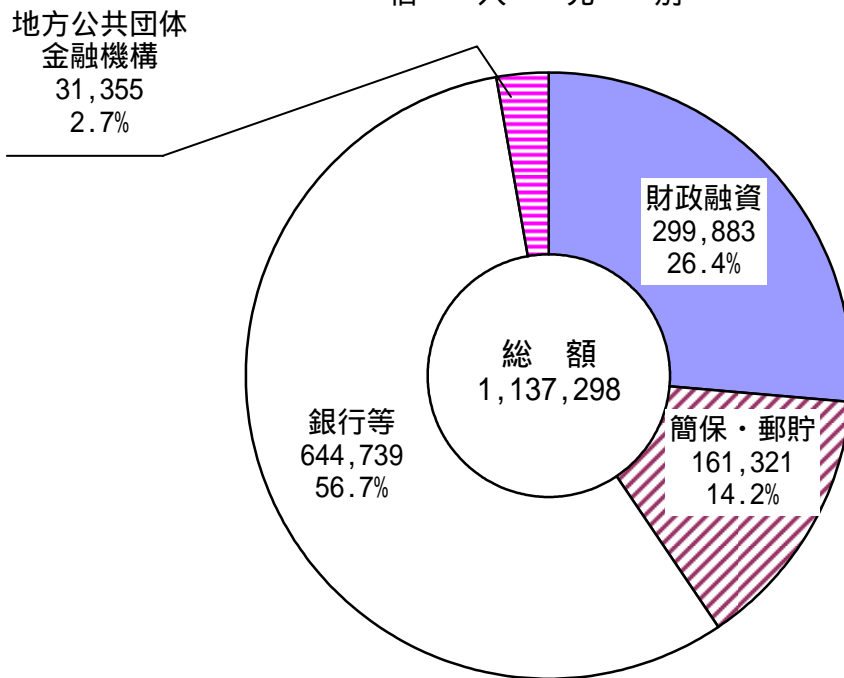
県債現在高の内訳（一般会計）

（平成21年度末見込、単位：百万円）

目的別



借入先別



ポイント!

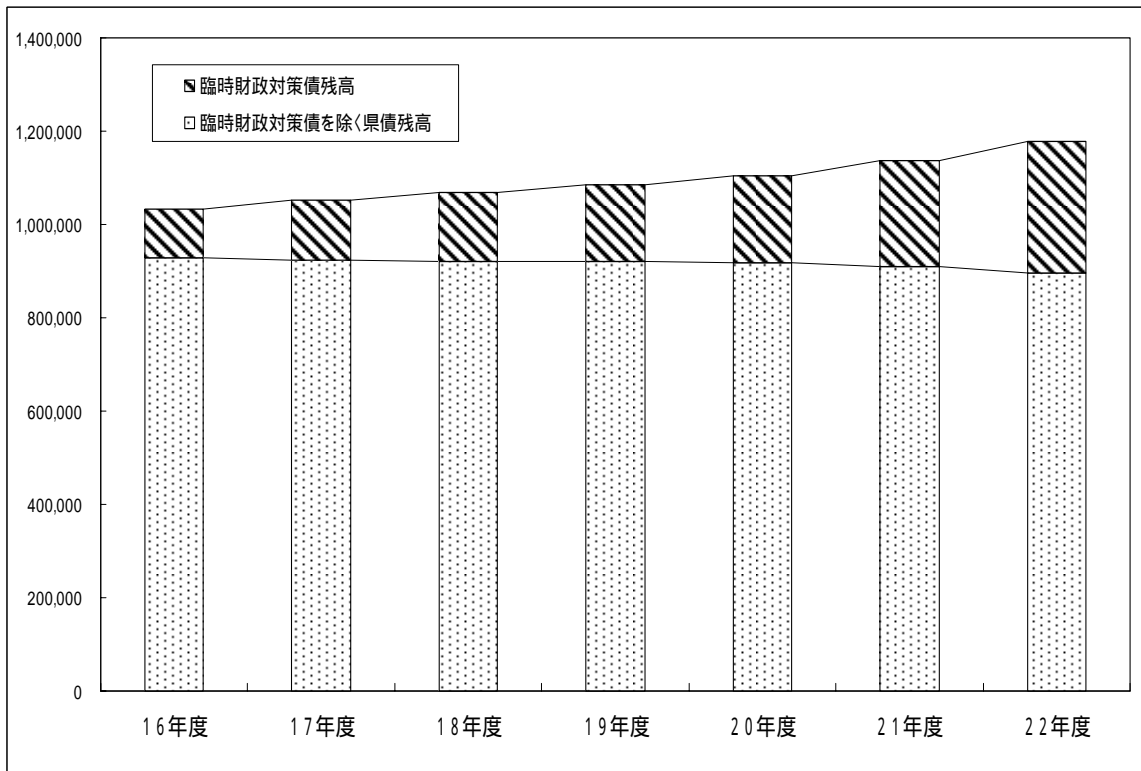
県債残高の推移

平成22年度末の県債残高は、1兆1,785億円を見込んでおり、近年増加傾向にあります
が、これは地方財源不足に対応するために発行した臨時財政対策債によるものです。

臨時財政対策債とは、地方交付税の振り替えに伴い発行が認められている特例地方債
(P.15参照)であり、平成22年度末の県債残高に2,819億円含まれていますので、これを
除いた県債残高は8,966億円となり、近年減少傾向にあります。

さらに、県債の約6割が後年度交付税措置されるものであり、国から手当のある有利
なものを優先的に活用しながら県政運営を行っています。

県債残高の推移



単位:百万円

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
県債残高	1,032,779	1,051,680	1,068,420	1,084,474	1,103,515	1,137,298	1,178,490
臨時財政対策債残高	105,329	127,746	148,335	165,256	184,764	226,376	281,931
臨時財政対策債を除く県債残高	927,450	923,934	920,085	919,218	918,751	910,922	896,559

平成22年度は6月現計予算